

●現業職の採用再開に NO !!

20億5千4百万円の補正予算案をはじめ、市民や観光客の交通安全確保を目的とする市交通安全基本条例案、ノーベル医学・生理学賞を受賞した山中伸弥京大教授に名誉市民の称号を贈る議案など計32議案を可決いたしました。

京都党からは、「技能労務職職員の採用に関する決議(案)」を提出。しかし、自民、民主、公明、共産をはじめ、反対多数で否決。一方、この採用に関しては、自民党などが対案の決議案を提出し、京都党をはじめとする賛成多数で可決いたしました。京都党案は、試行的であっても、技能労務職員の採用再開に反対をしておりました。また、橋下徹大阪市長の米軍幹部に対する発言などに対して、抗議と謝罪を求める決議案を賛成多数で可決いたしました。

●100万円の海外視察に NO !!

自民党(3人)、民主党(2人)、公明党議員(3人)の提案による動物愛護施設の海外視察に反対いたしました。計画では、フランス、ドイツ、イギリスの3カ国を7泊9日の日程で訪問予定。海外視察は平成18年度より、「観光目的化している」との住民訴訟が起きたことを踏まえ、実施を凍結。しかし、昨年度より再開。海外視察は議員ひとりあたり100万円の予算。同行する職員を含め、1千万円近くの費用が発生。財政非常事態宣言の中、多数の議員で動物愛護施設を海外にまで視察する必要性は、言うまでもなくありません。京都党は海外視察について、別途予算立てすることなく、議員個人に支給される政務調査費の中で実施すべきであると主張しております。

第4回政治塾

第4回「京都党村山祥栄政治塾」を、6月25日アランヴェールホテル京都にて開講いたしました。

4回目となる政治塾は、(株)グローバルミックス代表取締役の勝美博光氏と前官公庁長官の溝畑宏氏を講師として招聘し、それぞれ、「統合型リゾート構想」と「日本の観光行政」について講義が行われました。

次回、第5回の講義は7月28日に開講いたします。



トピックス 1面…6月臨時議会報告

2面・3面…新企画・議会論戦レポートvol.1～放置自転車の啓発活動について～

4面…議会報告01～5月定例会報告～/第4回政治塾

6月臨時議会報告

●公務員給与、25億円の削減が実現！！



京都党は2月議会で平成25年度の予算案を否決しました。その理由は、本年度の予算案が、公共事業費を昨年度比で175億円も大幅増加させる一方で、国からの32億円の公務員給与の削減要請を無視し、

131億円もの予算不足が発生させたためです。結果として、将来の借金返済のための積立金である「公債償還基金」を過去最大規模となる93億円も取り崩す予算案となりました。だからこそ、京都党は予算案に反対をいたしました。このように京都党は公務員給与の引き下げを2月議会から声を上げておりました。厳しい財政状況が続く中、6月となり、門川市長もようやく重たい腰を上げました。25億円分の公務員給与の引き下げに応じ、公債償還基金の取り崩しを減額する補正予算案を提案したのです。この補正予算案に、京都党をはじめ、自民、民主、公明も賛成し、公務員の給与引き下げが実現しました。今後とも京都党は他会派をリードする未来を見据えた政策提案を訴え続けて参ります。